

2013/3/13

資料10

第2回徳島県景気動向協議会

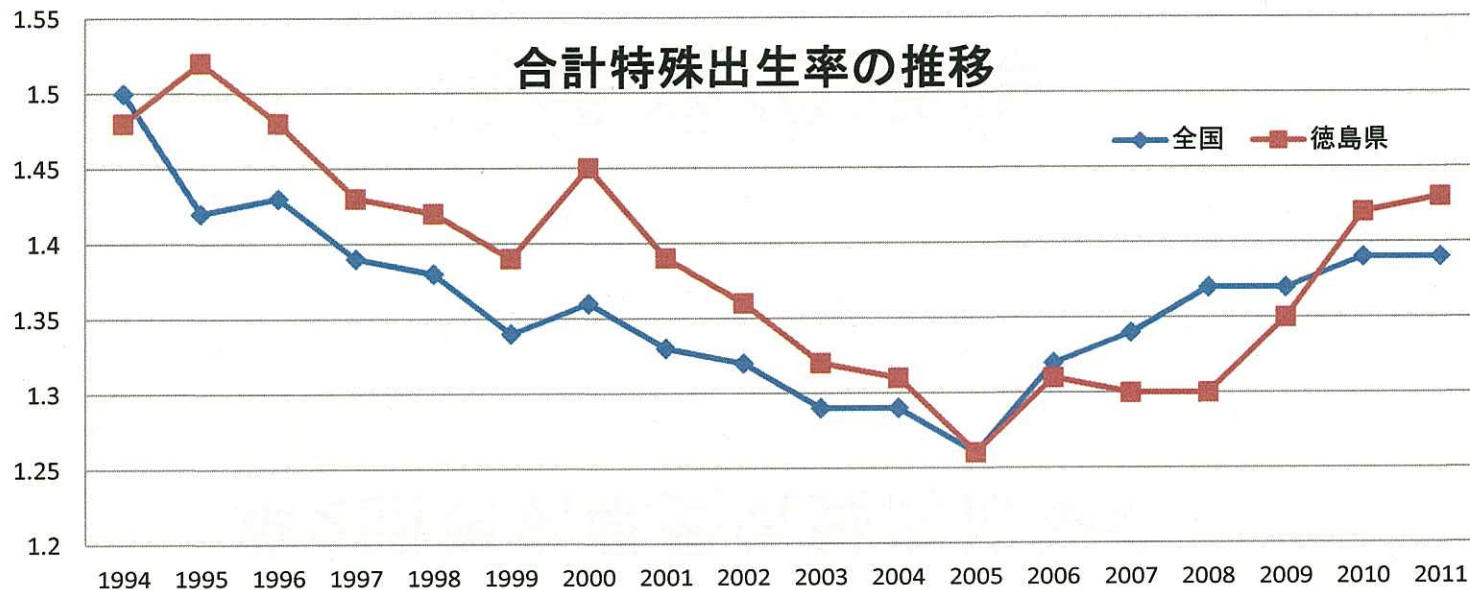
若年層の結婚 抜粋～相関分析～

徳島文理大学総合政策学部

水ノ上智邦

1. 研究の動機

- 回復基調にある合計特殊出生率
 - 有配偶出生率は上昇するも有配偶率は低下
 - 出生率の更なる上昇には結婚が重要



厚生労働省「人口動態特殊統計」より

2. 今回の分析に用いたデータ

- ・総務省「平成19年就業構造基本調査」

調査日時：平成19年10月1日

全サンプル：959,744人

- ・分析の対象：20～39歳の男女

地域	年齢	男性	女性
全国	全サンプル	454,497	505,247
	20～39歳	120,124	123,505
徳島県	全サンプル	8,434	9,677
	20～39歳	1,957	2,102

2. 今回の分析に用いたデータ

・定義

結婚経験率＝全体に占める「有配偶者と離死別者」の割合

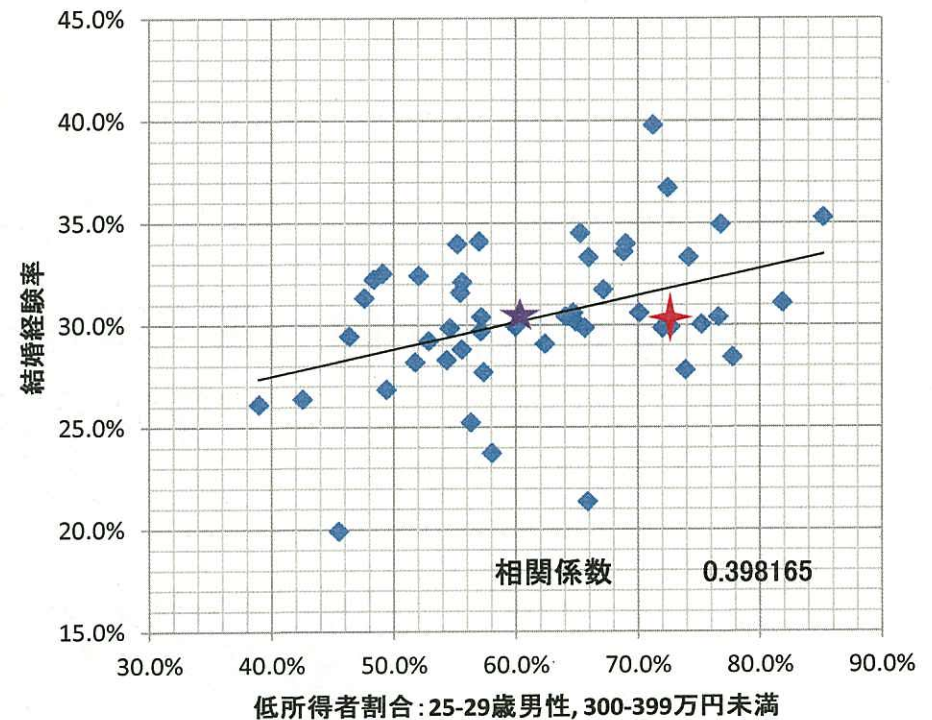
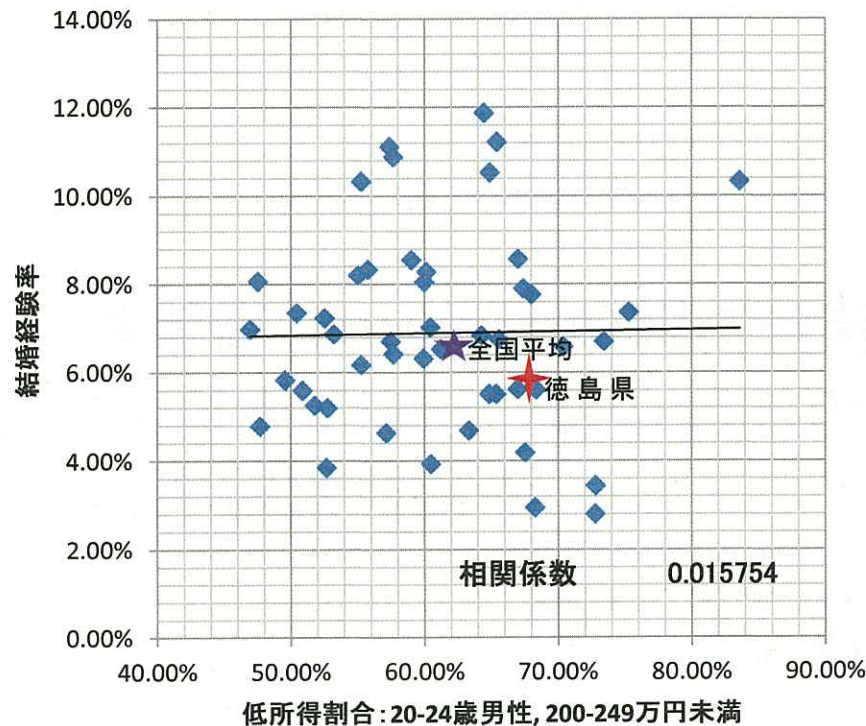
地域	性別	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
全国	男性	6.5%	29.9%	56.5%	70.2%
	女性	10.6%	40.5%	69.5%	82.2%
徳島県	男性	5.6%	29.9%	56.6%	72.1%
	女性	8.9%	37.5%	67.5%	77.9%

3. 分析の結果

所得と結婚経験率

低所得者割合と結婚経験率の間に一貫した関係はない。

徳島県：低所得者割合が多いが結婚経験率は全国平均とほぼ同等。

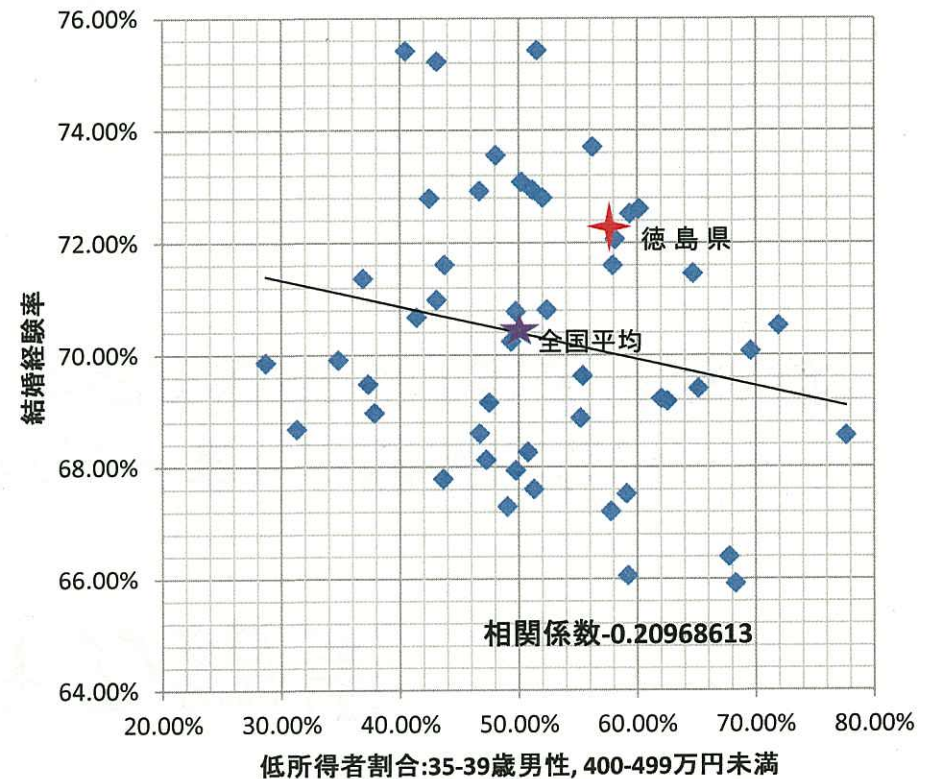
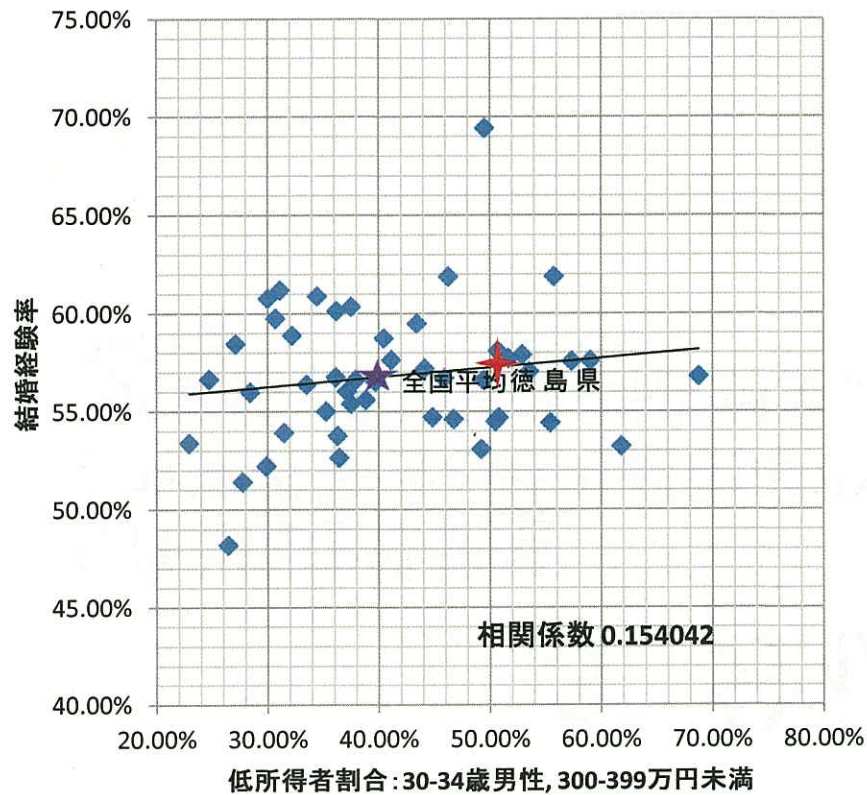


3. 分析の結果

所得と結婚経験率

30代後半では弱い負の相関が見られる。

徳島県：30代後半の結婚経験率は全国平均よりやや高い。

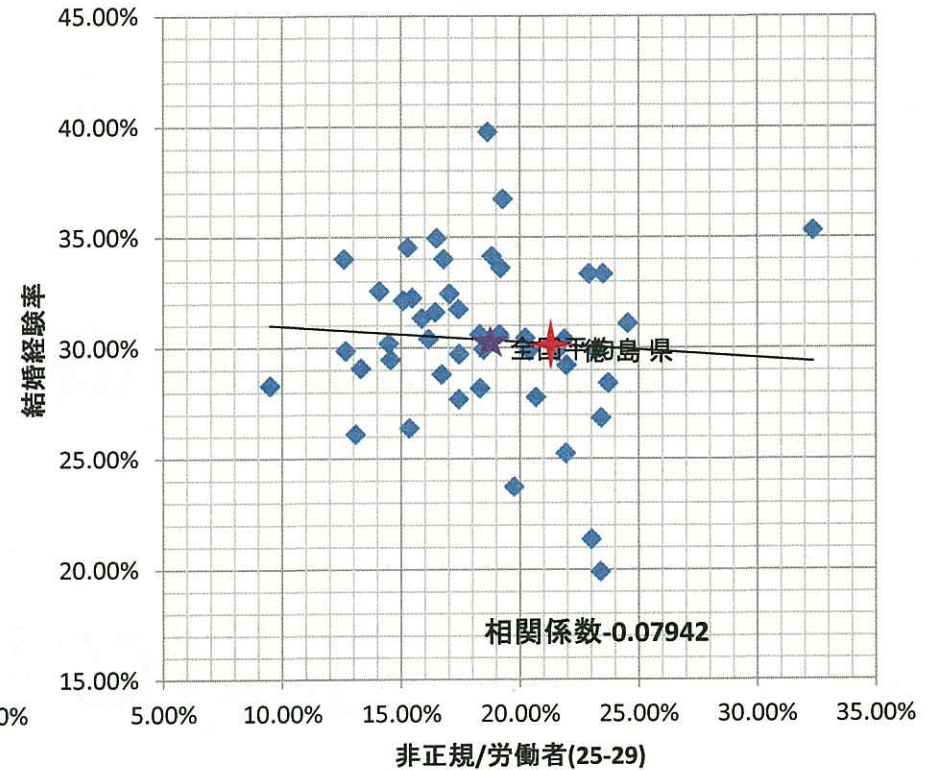
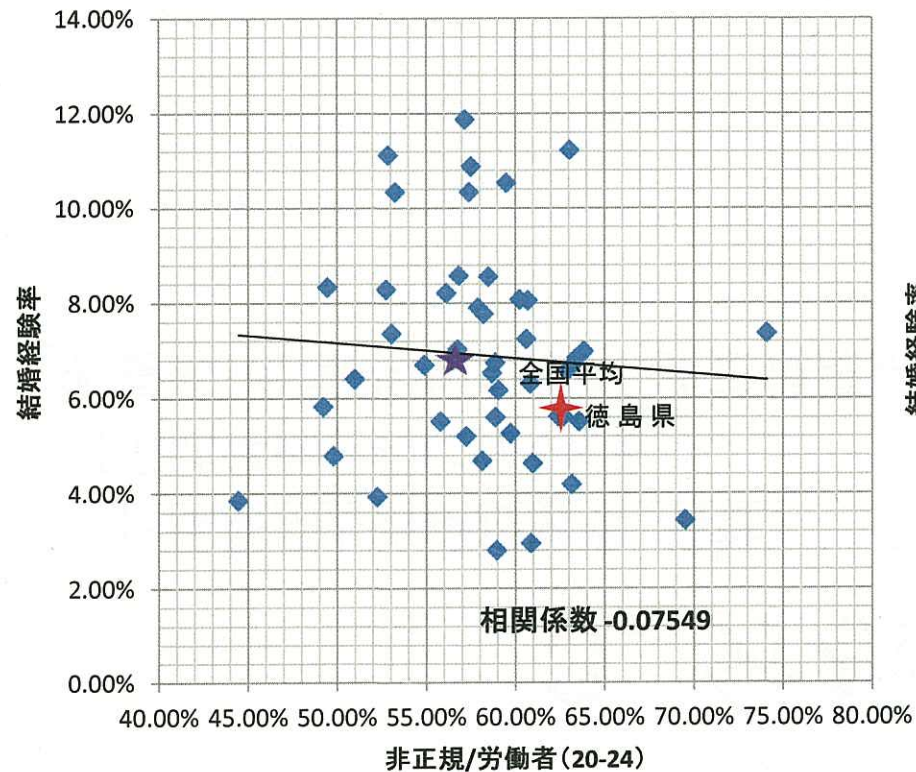


3. 分析の結果

非正規雇用と結婚経験率(男性)

非正規雇用者割合が高いと結婚経験率は低い。

徳島県: 非正規雇用者割合はやや高い。

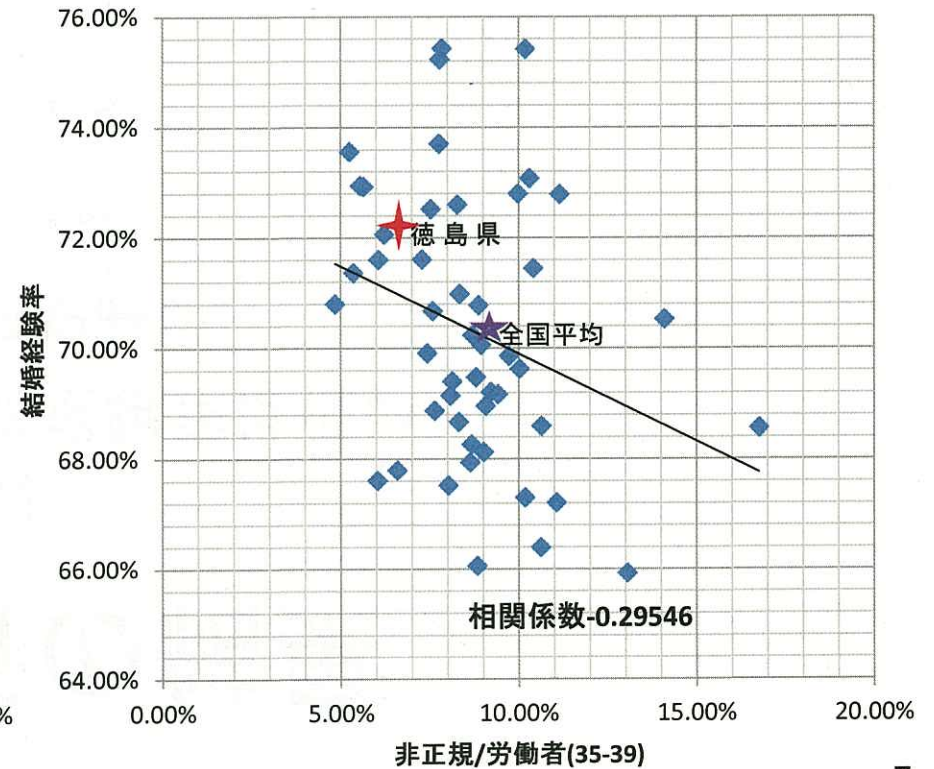
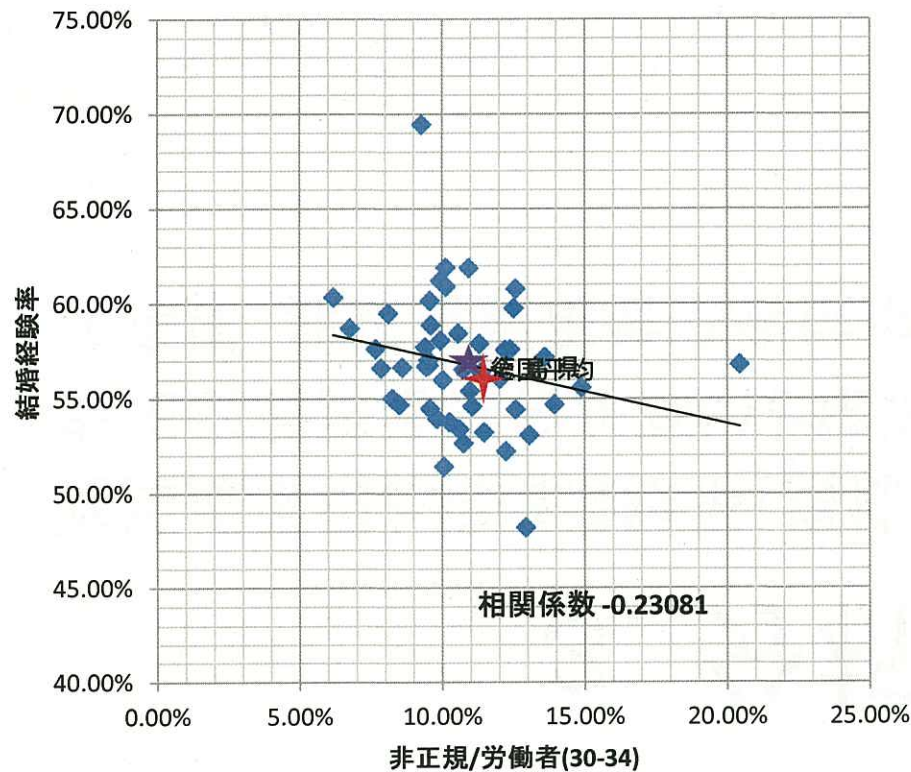


3. 分析の結果

非正規雇用と結婚経験率(男性)

相関は年齢と共に強くなる.

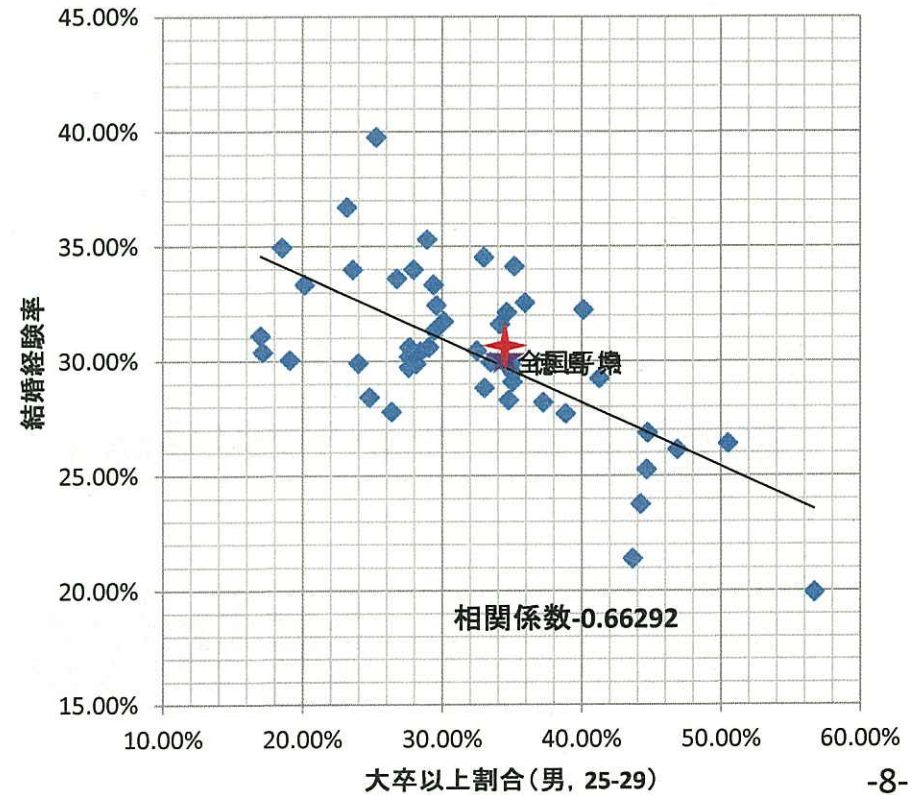
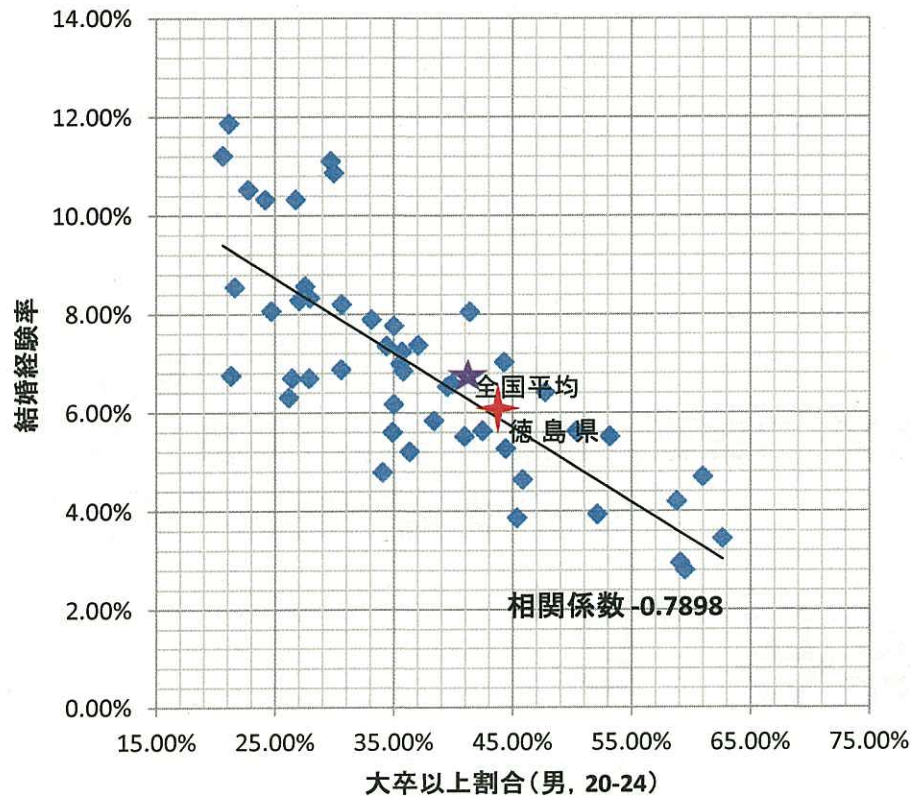
徳島県: 全国平均に比べ, 非正規雇用者割合は年齢と共に改善される.



3. 分析の結果

学歴と結婚経験率(男性)

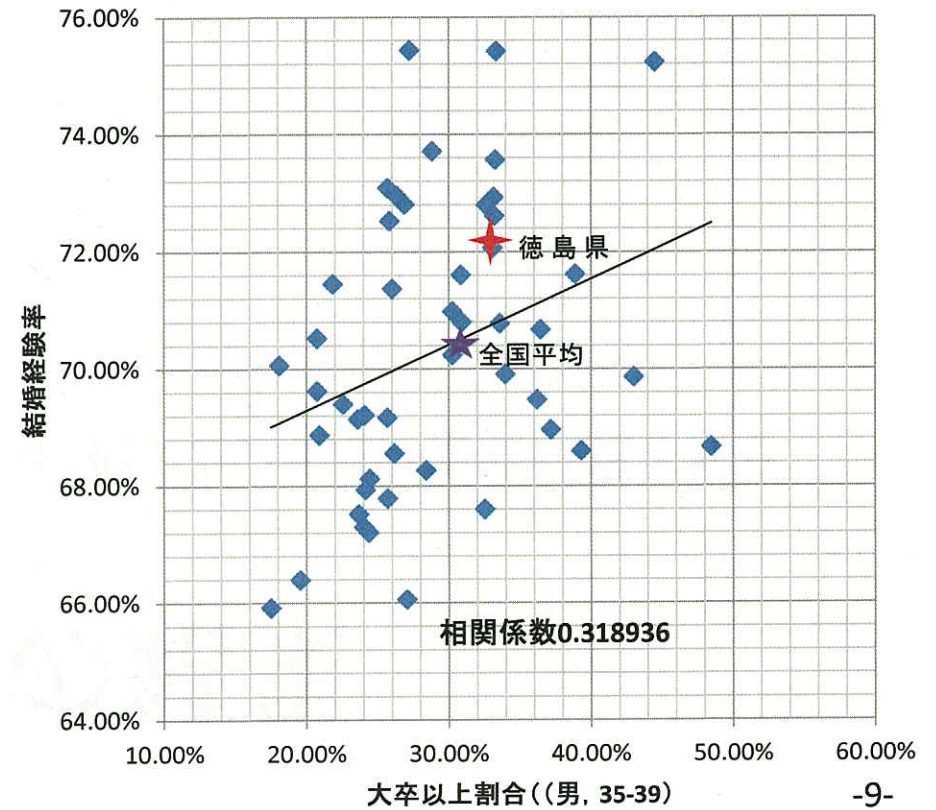
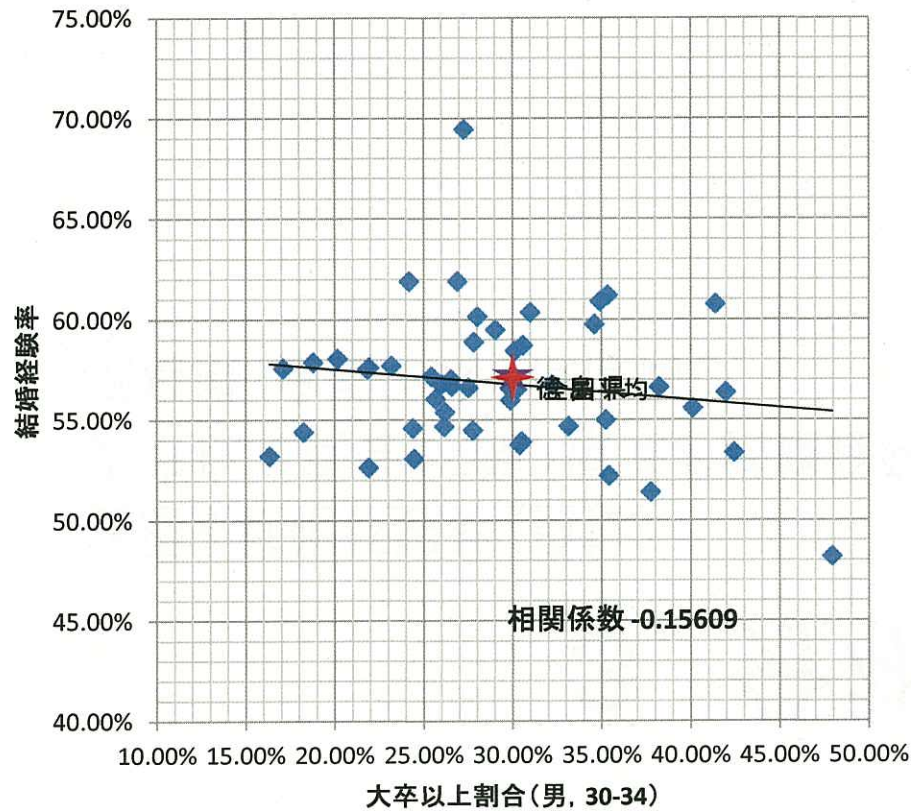
大卒以上割合が高い県ほど結婚経験率が低いという強い相関が見られる。
徳島県: 全国平均とほぼ同じ。



3. 分析の結果

学歴と結婚経験率(男性)

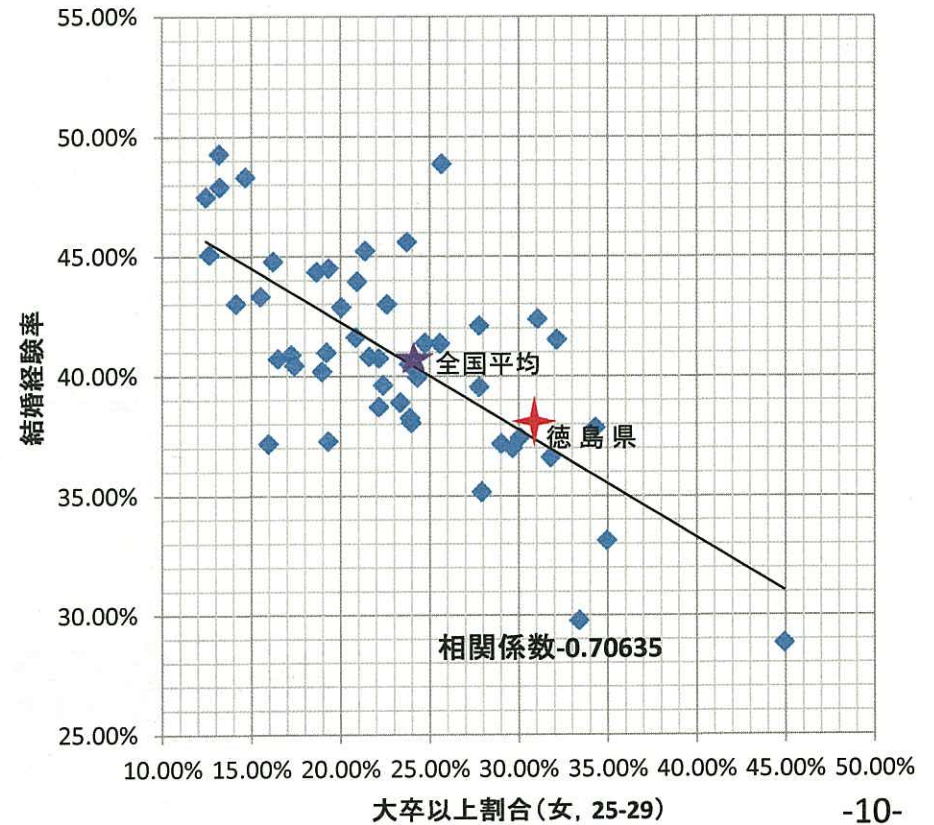
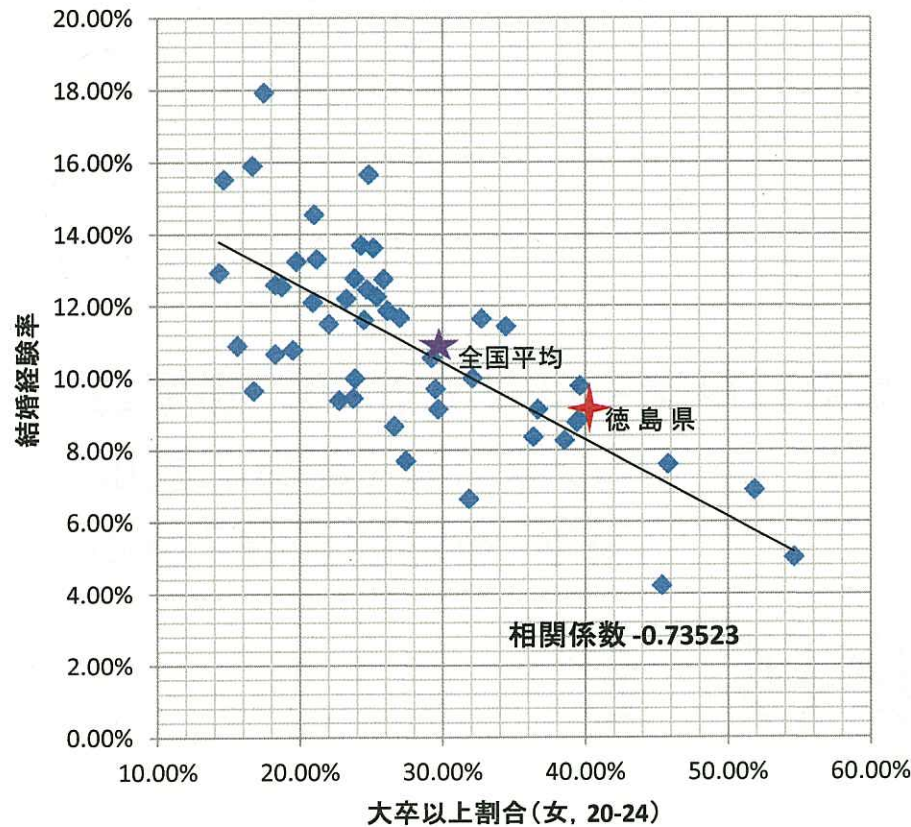
30代後半になると相関が逆転し、大卒以上割合が高い県ほど結婚経験率が高い。



3. 分析の結果

学歴と結婚経験率(女性)

大卒以上割合が高いほど結婚経験率が低いという相関が強く見られる。
徳島県：全国トップクラスに大卒以上割合が高く、結婚経験率も低い。

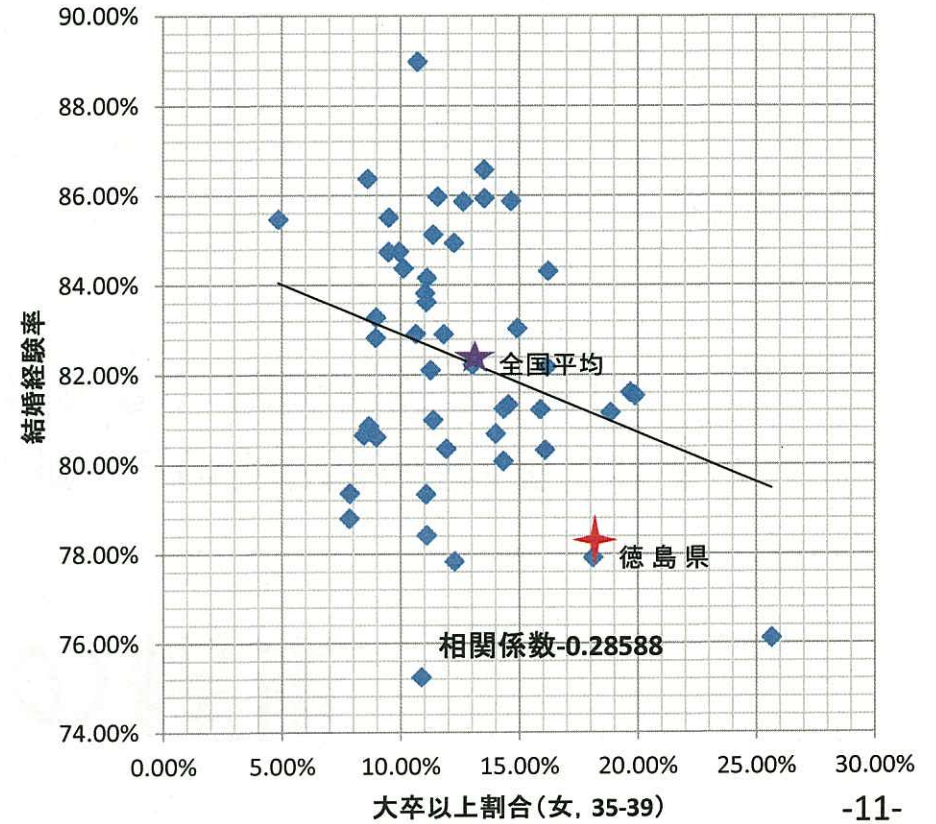
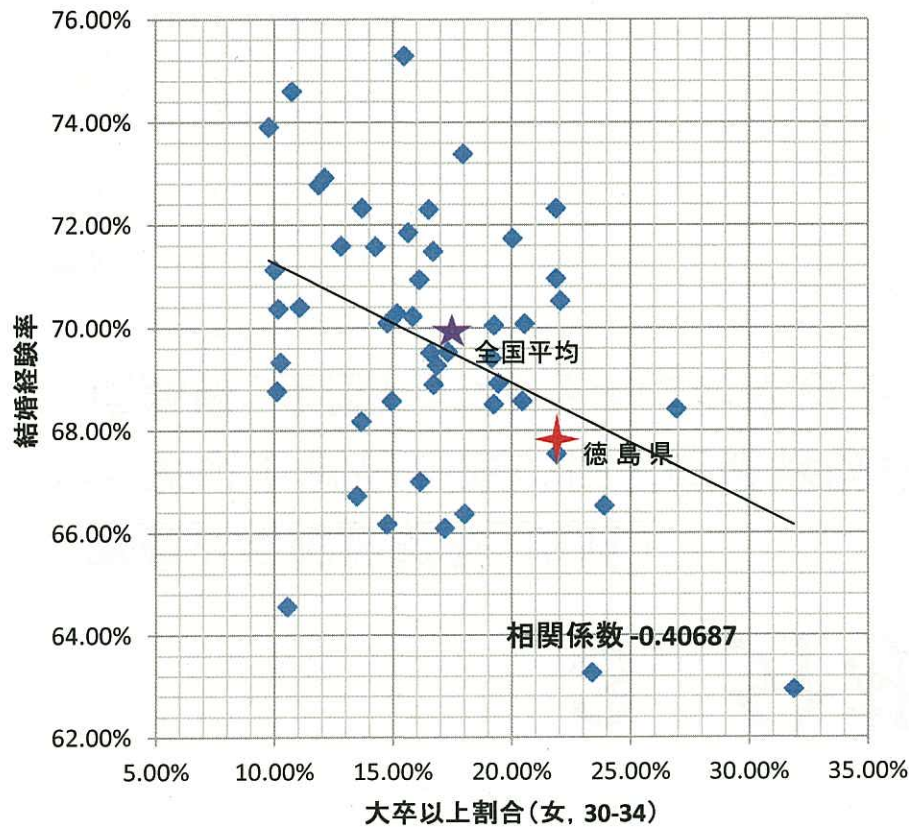


3. 分析の結果

学歴と結婚経験率(女性)

相関は年齢と共に弱くなる.

徳島県:30代も大卒以上割合は相変わらず高い.



3. 分析の結果

まとめ

・年齢階級によって各要因が結婚経験率に与える効果は大きく異なり、符号までも代わってしまう場合がある。

男性について

低所得者割合が結婚経験率に与える影響は一貫しないが、非正規雇用者割合は全年齢階級を通じて結婚経験率と負の相関を持つ。大卒以上割合は若年層の結婚経験率に負の効果を持ち、30代後半では正の効果を持つ。

女性について

大卒以上割合は全年齢階級を通じて結婚経験率に負の効果を持つ。徳島県の女性は全国トップクラスに大卒以上割合が高く、結果的に結婚経験率が低い要因に？

4. 今後の予定

複数年度のデータ入手

→結婚行動の変化

- ・単年度のデータでは、結婚を決める各要因のトレンドがわからない。
- ・複数年のデータの利用により、若年層の結婚についてより深い理解が可能に。